

アクサ生命 PRESS RELEASE

2016年9月5日

アクサ生命、「国際チャリティー・デー」に合わせ、ろう学校「明晴学園」を支援 ～「ブレイクファストチャリティー」イベントによる収益金97万5,838円を寄付～

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼CEO:ニック・レーン)は、今年5月から7月末まで「ブレイクファストチャリティー」を実施しました。このチャリティーによる収益金に、会社から同額の寄付金を加算した金額計97万5,838円をろう学校「明晴学園」※(東京都品川区)に寄付するとともに、国際連合が定めた9月5日の「国際チャリティー・デー」に合わせて寄付金の贈呈式も行いました。

「ブレイクファストチャリティー」は、社内で朝食の販売を行ない、仕入れ値を差し引いた額を支援先に寄付するというチャリティーイベントで、2008年以来毎年開催しています。今年は本社を含め全国約50カ所の拠点で開催され、役員や管理職をはじめとする2,000名以上の社員が参加しました。なお2008年以降、アクサ生命から明晴学園への積算寄付金額は965万9,092円となっています。

2015年のアクサ生命からの寄付は、音ではなく光でチャイムや警報を発信する「パトライト」のシステムの更新や、視覚的に訴える授業を実現するために画面を大きく表示できる「電子黒板」の購入などに役立てられました。今回の寄付金も視覚を活用した設備や教材購入、また小学部の社会見学や中学部の理科の授業で日本語を日本手話する「手話通訳」の費用等に使用される予定であり、アクサ生命は今後も「明晴学園」のより豊かな教育環境作りに役立てられることを願っています。



9月1日に明晴学園で寄付金贈呈式を実施
(写真左から)
明晴学園の生徒とアクサ生命 山内 康晴 執行役員



寄付金贈呈式後の記念撮影



本社での「ブレイクファストチャリティー」イベントの様子



明晴学園の子供たち

*ろう学校「明晴学園」

「明晴学園」は、2008年4月、日本初のバイリンガルろう教育を行う私立学校として開校しました。これまで日本のろう学校では、日本手話を授業で用いず、補聴器や発声訓練によって日本語での会話習得を目指す授業が行われてきました。「明晴学園」では、耳の聞こえない子供たちは「日本手話」を第一言語として学び、その後「日本語」の読み書きを身に付け、手話と日本語のバイリンガルに育ちます。これによって、聞こえる子供たちと同じように学ぶことができるようになりました。

(URL: <http://www.meiseigakuen.ed.jp/index.html>)

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、233 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2015 年度には、2,747 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。また、「アクサ損害保険」と「アクサダイレクト生命」を連結する親会社として、子会社各社の経営管理・監督を行っています。

AXA グループについて

AXA は世界 64 ヶ国で 16 万 6,000 人の従業員を擁し、1 億 300 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2015 年度通期の売上は 990 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングス(基本利益)は 56 億ユーロ、2015 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 3,630 億ユーロにのびます。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話: 03-6737-7140 FAX: 03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>